

令和 7 (2025) 年度
摂食嚥下障害看護認定看護師教育課程
受講者選考試験問題

専 門

〔45 問〕

— 抜 粋 (20 問) —

注意事項

1. 試験開始の合図があるまで、この問題冊子の中を見てはいけません。
2. この冊子は、表紙を含めて 14 ページ あります。
また、解答用紙として、マークシートが1枚 です。
試験中に問題冊子や解答用紙の印刷不鮮明、落丁、乱丁及び解答用紙の汚れ等に気付いた場合は、手を高く挙げて監督者に知らせてください。
3. 問題冊子には受験番号欄、解答用紙には受験番号欄、及び氏名欄があります。
監督者の指示に従って、すべてに正しく記入してください。
4. 受験番号及び氏名が正しく記入されていない場合は、採点できないことがあります。
5. 解答は、解答用紙の<記入方法>に従って、正しく記入してください。
6. 各問題の解答は、1 問につき 1 つ です。
7. 試験終了後、問題冊子は回収します。

開示用

【問題 1】 から 【問題 45】 について、適切な答えを 1 つ選びなさい。

【問題 2】 舌の解剖について正しいのはどれか。

1. 舌根は下咽頭にある。
2. 感覚は舌下神経が支配する。
3. 舌の側縁部には味蕾がない。
4. 内舌筋・外舌筋で構成される。

【問題 4】 喉頭の解剖について正しいのはどれか。

1. 喉頭蓋は喉頭口の後壁が上側に突出したものである。
2. 喉頭蓋と咽頭後壁の陥凹部を喉頭蓋谷という。
3. 声帯は外側に回転すると声門を閉鎖する。
4. 甲状軟骨は舌骨とともに上下に動く。

【問題 9】 一側性の大脳皮質の障害で出現する症状として正しいのはどれか。

1. 額のしわ寄せができない。
2. 口唇の感覚低下がある。
3. カーテン徴候がある。
4. 舌萎縮がある。

【問題 11】 「嚥下反射」 について正しいのはどれか。

1. 口蓋帆が下降する。
2. 喉頭蓋が挙上する。
3. 0.5 秒程度で完了する。
4. 輪状咽頭筋が収縮する。

【問題 12】「味覚」について誤っているのはどれか。

1. 味覚を感じる味蕾は軟口蓋にも分布する。
2. 味覚は唾液の水分に化学物質が溶けて感じる。
3. 舌前 2 / 3 の味覚は、顔面神経から疑核に伝えられる。
4. 味覚は甘味・塩味・酸味・苦味・うま味の 5 つである。

【問題 15】嚥下した後にむせている場合に考えられることについて誤っているのはどれか。

1. 咽頭残留があった。
2. 喉頭下垂があった。
3. 奥舌の挙上不全があった。
4. 嚥下後吸気から開始された。

【問題 18】球麻痺について正しいのはどれか。

1. 高次脳機能障害を併発しやすい。
2. 頸部・体幹に痙性麻痺が生じやすい。
3. 嚥下反射のパターンが障害されやすい。
4. 運動障害であり、感覚障害は起こりにくい。

【問題 21】日本老年医学会が提唱するフレイルについて正しいのはどれか。

1. 身体的フレイル、認知的フレイルの 2 つから構成される。
2. オーラルフレイルはポストフレイルの位置づけである。
3. 健常な状態と要介護状態の間の状態をいう。
4. 不可逆性である。

【問題 23】アルツハイマー型認知症の摂食嚥下障害の特徴について正しいのはどれか。

1. 発症早期には先行期の障害が多い。
2. 幻視による摂食拒否がある。
3. 常同的食行動異常がある。
4. 不顕性誤嚥が多い。

【問題 25】精神疾患の摂食嚥下障害の特徴について誤っているのはどれか。

1. 窒息事故が多い。
2. 歯の欠損が多い。
3. 錐体路症状が原因になる。
4. 原疾患の治療を優先する。

【問題 26】パーキンソン病について正しいのはどれか。

1. 中脳の黒質にあるドパミン産生神経細胞が増加する疾患である。
2. 症状が薬の効果で抑えられていることをオフ現象という。
3. 企图振戦、筋強剛、無動、姿勢反射障害の特徴がある。
4. 食事性低血圧による窒息のリスクがある。

【問題 28】神経・筋疾患の病名と主な症状の組み合わせで正しいのはどれか。

- | | |
|----------------|------------|
| 1. 重症筋無力症 | － 眼瞼下垂 |
| 2. 筋強直性ジストロフィー | － 運動失調 |
| 3. 脊髄小脳変性症 | － クリーゼ |
| 4. 筋萎縮性側索硬化症 | － パーキンソニズム |

開示用

【問題 31】 舌がん術後の放射線治療の急性期症状として誤っているのはどれか。

1. 粘膜炎
2. 口腔乾燥
3. 味覚障害
4. 筋の線維化

【問題 34】 小児の摂食嚥下機能の発達順序と食形態の組み合わせで正しいのはどれか。

1. 捕食機能獲得期 — 母乳
2. 嚥下機能獲得期 — なめらかにすりつぶした食物
3. 押しつぶし機能獲得期 — 歯茎で押しつぶせる食物
4. すりつぶし機能獲得期 — 舌で押しつぶせる食物

【問題 35】 次の①～④の特徴を全て持つ疾患はどれか。

- ① 脳の非進行性病変に基づく運動や姿勢の異常がみられる。
- ② 痙直型・不随意運動型・低緊張型・失調型・混合型の病型に分かれる。
- ③ 重症度が高いほど、摂食嚥下障害も重度となる。
- ④ 口腔内は、高口蓋・狭口蓋・開咬などの形態異常がみられることがある。

1. 筋ジストロフィー
2. 喉頭軟化症
3. ダウン症
4. 脳性麻痺

【問題 36】 摂食嚥下障害のスクリーニング検査について正しいのはどれか。

1. 反復唾液嚥下テストは、空嚥下を指示し 30 秒間に 3 回未満を陰性と判断する。
2. 改訂水飲みテストは、冷水 3ml を用いて不顕性誤嚥の有無を判定する。
3. フードテストは、プリン約 10g を用いて口腔内残留の有無を評価する。
4. 水飲みテストは、薬杯の常温水 30ml を用いて評価する。

【問題 38】 口腔ケア時の観察点とアセスメントで正しいのはどれか。

1. 右舌背部に舌苔が付着している患者は、末梢性右舌咽神経麻痺の可能性がある。
2. JCS(Japan Coma Scale) II -20 の患者は、誤嚥時に咳反射が消失する可能性がある。
3. うがい時に左口唇より水が流出する患者は、中枢性右三叉神経麻痺の可能性がある。
4. 歯ブラシで髪をとかそうとする患者は、左頭頂後頭葉障害の観念失行の可能性がある。

【問題 39】 間接訓練について正しいのはどれか。

1. 食事の直前に脱感作を行う。
2. 歯肉マッサージで唾液分泌を促す。
3. 認知症患者に息こらえ嚥下を指導する。
4. 頸椎症患者に Shaker exercise を指導する。

【問題 41】 Global Leadership Initiative on Malnutrition(GLIM)基準について正しいのはどれか。

1. 栄養スクリーニングのツールとして使用される。
2. 病院に入院している患者用に日本で開発された。
3. 65 歳以上の高齢者の栄養評価に特化している。
4. 低栄養診断基準として使用される。

【問題 45】呼吸器のフィジカルアセスメントについて正しいのはどれか。

1. 吸気の延長があったため、末梢気道の狭窄閉塞を疑った。
2. 右中肺野の打診が鼓音であったため、胸水貯留を疑った。
3. 左上葉の fine crackles があったため、誤嚥性肺炎を疑った。
4. 胸郭の背部触診での広がりか 4 cm未満であったため、COPD(慢性閉塞性肺疾患)を疑った。